

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	完結分
H25	1	川内	中心市街地などの活性化について	商工政策課	中心商店街の若手や市民参加型の新たな中心市街地活性化組織の立ち上げ「中心市街地活性化基本計画」の計画期間が平成25年度で終了することから、平成26年度からは、川内商工会議所・まちづくり薩摩川内・地元商店主（若手中心）等を中心とした新たな組織の立ち上げについて、現在、中心市街地活性化協議会の下部組織である幹事会で検討中である。 この組織において、より実効性のある中心市街地活性化策について協議していききたいと考えている。	「中心市街地活性化基本計画」の計画期間が平成25年度で終了することから、平成26年度からは、川内商工会議所・まちづくり薩摩川内・地元商店主（若手中心）等を中心とした新たな組織として「薩摩川内わいわい街（タウン）ミーティング」の立ち上げをおこなう予定である。 この組織において、各種団体と連携をはかり、ソフト事業を中心とした中心市街地活性化策を実施し、魅力ある商店街づくりをおこなっていく。	魅力ある商店街づくりや各種団体との連携などを通して中心市街地の活性化を図ることを目的に、「薩摩川内わいわい街（タウン）ミーティング」を立ち上げ、平成26年4月25日に第1回ミーティングを開催された。平成26年度において4回のミーティングを開催し、川内駅100周年記念イベントへの協力やハロウィンイベントへの協力等を行なったところである。今後、商店街の空店舗対策やイベント開催・共催等により、中心市街地の活性化をおこなっていく。				
H25	2	川内	人口の増加対策について	学校教育課	平佐西小の「過大規模校化の緩和」、川内小の「1学年2学級の維持」、平佐東小の「極小規模校化の緩和」等を目指し、平成26年4月から、平佐西小校区から川内小、または、平佐東小への通学を希望する児童については、条件を付して、転入学を認めることで、現在作業を進めている。	平佐西小校区から川内小、平佐東小へ転入学を希望する児童について、26年4月から、一定の条件を付し、認めることとした。（平佐西小学校の通学区域における通学区域の弾力化制度） 25年12月に平佐西小在校児童の保護者にアンケートや説明会を実施し、26年1月には、同小新入学予定児童の保護者に対してこの制度の趣旨を周知した。 26年4月には、川内小へ6名、平佐東小へ1名、合計7名が転入学の予定。					○
H25	2	川内	人口の増加対策について	建築住宅課	市営住宅に子育て世代が入居していただけるということは、このような児童数の増加に繋がることは十分に理解している。そこで、今年の3月から、このような子育て世代の市営住宅に入居するための条件を緩和している。	子育て世帯が入居できるよう入居要件を緩和して運用している。					○
H25	3	平佐西	川内駅東口の開発、今後の方向性について	企画政策課	事業者からの応募受け付け後の事業スケジュールを説明。 審査により、最優秀の事業者を厳正に決定してまいりたい。こうした選定作業を進めて、事業協定や契約等を締結し、建設工事に着手、できるだけ早く施設を完成していただき、賑わいの創出、魅力ある空間づくりに繋げていきたい。 今回の事業展開により、川内駅東口のみでなく、広く中心市街地まで、この効果が現れ、賑わいが生まれるような企画提案、そして、運営を期待している。	できるだけ早く魅力ある施設を整備することで、賑わいの創出に繋げ、川内駅東口のみでなく、広くこの効果が波及することを期待している。	年度当初に事業提案を公募したが、事業選定まで至らなかったため、市として独自に事業者当たるなど事業化策を模索している。 当該土地での賑わい創出の必要性は認識しており、事業化の目的や課題等を見極めながら、今後の対応策を示していきたい。				
H25	3	平佐西	川内駅東口の開発、今後の方向性について	建設整備課	市道横馬場・田崎線については、市道駅前・白和線の現道部分に平成26年3月までに完成し供用する予定。 駅前白和線については、平成26年度から用地補償等に着手し、平成27年度に仮設橋の設置、橋梁下部工の施工、平成28年度に橋梁上部工及び一部改良舗装工事、平成29年度に仮設橋の撤去、改良舗装を実施するとともに、暫定で供用している横馬場・田崎線の改良を実施し駅東西を結ぶアクセス道路として整備することとしている。	市道横馬場・田崎線については、市道駅前・白和線の現道部分に平成26年3月22日に供用を開始した。	川内駅東口にアクセスする道路、市道駅前・白和線について、測量設計・用地取得・建物補償等を実施した。		○	○	
H25	3	平佐西	川内駅東口の開発、今後の方向性について	区画整理課	川内駅周辺地区土地区画整理事業は、平成15年度から工事を着手し、本年度（平成25年度）に工事完了となる。 事業地区内は、「平佐一丁目」と新しい町名を進めることになる。	川内駅周辺地区土地区画整理事業は、平成26年2月28日に換地処分公告がなされ、3月1日に平佐一丁目が行われている。 街区公園の一部の工事をH26年度に完了し、事業完了となる予定である。	川内駅周辺地区土地区画整理事業は、平成26年度で事業完了した。		○		○
H25	4	平佐東	学校再編について	学校教育課	平佐西小の「過大規模校化の緩和」、川内小の「1学年2学級の維持」、平佐東小の「極小規模校化の緩和」等を目指し、平成26年4月から、平佐西小校区から川内小、または、平佐東小への通学を希望する児童については、条件を付して、転入学を認めることで、現在作業を進めている。	平佐西小校区から川内小、平佐東小へ転入学を希望する児童について、26年4月から、一定の条件を付し、認めることとした。（平佐西小学校の通学区域における通学区域の弾力化制度） 25年12月に平佐西小在校児童の保護者にアンケートや説明会を実施し、26年1月には、同小新入学予定児童の保護者に対してこの制度の趣旨を周知した。 26年4月には、川内小へ6名、平佐東小へ1名、合計7名が転入学の予定。					○